

『黒い羊』LS・ホーカー 著 村井智之 訳

罠にはめられ、絶対絶命のネッサ。  
追いつめられた彼女はあなたの  
想像の100倍、地獄を知っている!?

地元ラジオ局のDJとして成功し有名になってから、ネッサの平穏な生活は壊れ始めます。夫とは別居。彼女の名を騙ったSNSが差別的な発言を繰り返し、スポンサーも離れてしまいます。信用を失い、孤立し始めたネッサのブログに、ある日謎めいたコメントが届きます。そこには、誰にも教えていない本名“ロージー”が匂わされていて……。夫の嫌がらせなのか、消し去ったはずの過去を知る誰かなのか——。ネッサはひとり立ち向かおうとしますが……。こう書くと、窮地のネッサがか弱い女性のように思えますが、どんでもありません。ネッサは地獄をくぐり抜け、苦勞して平凡な幸せを手に入れたタフな鉄の女なのです。ネッサの過去に何があったのかは、間に挟まれる日記でわかるようになっていきます。詳しくは言いませんが、**「すごい」の一言。**『プリズン・ガール』で衝撃のデビューを果たした作家LS・ホーカーの待望の2作目。前作と同じく疾走感ある怒濤の展開に目が離せません。



一気読みをおすすめします! (担当編集 N)